
world peace orchestra

藤森優斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

w o r l d p e a c e o r c h e s t r a

【Nコード】

N 1 6 9 9 K

【作者名】

藤森優斗

【あらすじ】

僕が今まで行ってきた作詞活動での集大成のような作品です。

自身最高傑作と言えらると思います。相変わらず音楽としての詩の表現でありまして、誰かに歌って欲しいと思い続けているのですが…。

とにかく読んでみて欲しいです。一つの作品として良い出来になっていると思うので。

そして興味を持ってくれた人は、気軽に話しかけてください。よろしく願います。

素晴らしき世界の終わり

ああ、小学生が病気で死んでしまう そんなドラマでも泣かなくな
った

ああ、孤独な夜に綺麗に輝く星空も 今はもう嘲笑う様に見えてし
まう

生き物が背負う生命とは

美しいモノだったはずなのに

なあ、なんで苦しむ事に必死なんだ……。

ああ、犯罪者達が暮らす暗い監獄 膝を抱えて暮らす彼も一緒だろ

……。

ああ、存在意義さえも答えられないなんて愚かな存在する者だろ

……。

世界が願う平和には

彼女は含まれるのだろうか？

なあ、平等という嘘を敷いてまで……。

人類は本当に平和を願うのだろうか

人類は本当に世界を想うのだろうか

ああ、目の前で飛び降りた少女 救いようの無い姿に救われた

ああ、感情の偽りに下敷きとなるなんて生きにくい世界なんだ……。

世界が背負う生命とは

悪意の塊ではないのだと

なあ、証明出来る言葉が欲しい……。
それすら出来ない生命の意味が欲しい……。

素晴らしき世界の中
生命が全滅する事 それが世界の終わりじゃない
素晴らしき世界の中
生命は平等なる者 それが世界の終わりじゃない
素晴らしき世界の中
生命が背負う孤独 それが世界の終わりじゃない
素晴らしき世界の中
生命達の存在意義 それが世界の終わりなのだろ……？

存在する意味とは、全世代の生命に問う

『世界平和の意味は何？』

これは素晴らしき世界からの警告だ

平和への賛美歌

ライフルを抱えた少年が死んでしまった頃
僕達は何かしらに悩んで笑ってるだろう
眠れない夜に馴れてきた寂しがり的人类
朝になつてしまう事を何故恨むのだろう

みんなが望む平和への賛美歌
殺される子供達を横目に歌う賛美歌

難病を抱えた女の子が死んでしまった頃
僕達は仮の病で病氣面して休んでる
くだらない事にでも時間を使える事
寿命一年と言われた子供は何をするだろう

みんなが嫉む死人への賛美歌
飛び降りる自殺志願者に贈る賛美歌

何もかも意味が分からない出来事ばかりだ
だから僕等はその不思議を『魔法』と言おう
何もかも価値が有るなんて分かつてしまえば
生きてやる事なんて無くなつてしまふのだろう？

平和とは、いつまでも解けない『魔法』だ
平和とは、いつまでも終わらない『幻』だ

この世界が抱える生命の価値観とは、永遠に解けない『魔法』なの
だろう

そして僕達が暮らす世界の平和とは、永遠に現れない『幻』なのだ

ろう

それが分かっているとしても平和を願う生命の美学
平和を実物化しようと心から歌われる賛美歌

平和を願う『魔法』の賛美歌

平和を願う『幻』の賛美歌

神様、どうか耳を傾けてくれ……。

S u i c i d e W o r l d

生きにくい世界に疲れ果て、選ぶ道はいつも底
くだらない程に腐り尽きて、辿る道はいつも此処

「私は綺麗な花の様になりたいわ」

「僕は誰かを救ってみたいんだ」

君は両手汚して生きるのさ
僕も両手汚して生きるのさ

狂った目をして生命を弄ぶ

神様、アンタは最悪な存在だ

『運命なんて裏切れ、神より己を信じる』
そうやって、生きていけ

息憎い、世界を睨みつけ、死にたがり達の聖夜だ
砕け散る、君の存在意義、死にたがり達の聖地だ

「死にたい……」それ生きてる証拠

「明日は嫌……」それ明日を信じる心

君は手首刻んで生きるのさ
僕も手首刻んで生きるのさ

世界中の人々は自分の首絞めて生きるのさ

狂った目をして生命を弄ぶ
神様、アンタは最悪な存在だ

『運命なんて裏切れ、神より己を信じる』
そうやって、生きる姿勢

甘ったれた全てに喝だ

腐った精神が板についた人類だ

神様、アンタが思うより俺等は馬鹿だぜ

『運命なんて知らねえよ、神なんていらねえよ』

そうやって、強がる弱虫が僕等だ

そうやって、情けない姿勢で生きていけ

21世紀のバラード

言葉一つ、減ってきた時代の中で
文字と化した想いは伝わるのだろうか
難しい時代だ、狂いかけた世の中
僕等の世代だ、塗り替えたい世の中

世界の涙、それが酸性雨
世界の病、それが温暖化

この場所で生きる事になった訳ですが
迷いも不安も取り消せやしないよ
難しい時代だ、間違えは直せない
僕等の世代だ、塗り替えたい世の中

世界の傷口、オゾン層の破壊
世界の老化、それが森林伐採

愛すべき世界へ
裏切り者の生命が贈る21世紀のバラード
愛すべき世界へ

悪者同然の生命が贈る21世紀のバラード

泣かないで世界よ、謝る気で生きる僕等だ……。
休みたまえ世界よ、優しい振りする僕等だ……。
治したまえ世界よ、絆創膏を剥がす僕等だ……。
戻りたまえ世界よ、若い振りしてる僕等だ……。

どうにかなるのだろうか……。

世界に捧げる21世紀のバラード
救いようがあるだろうか……。
世界に捧げる21世紀のバラード

アナタカナタ

丸い地球に散りばめられた人形の光、数え切れない、取るに足りない存在

そんなちつばけな私達はこの場所で、出会えた事、奇跡以外になんと言おう

運命なんて安っぽい言葉は嫌い

裏切れない、決まり事の様で嫌い

どんな些細な出来事でさえも

起こりうる事、奇跡以外になんと言おう

ただ、あなたが出逢いたい人

ただ、あなたを待っている人

この世界の中、奇跡ばかりだから

平和の為に戦争開くお国様方、ちよつと自己中過ぎやしないか？

その前に『平和』って意味を知ってるの？

少なくとも、ライフフル構えて爆弾落とす事ではない

ただ、あなたが遠くに感じる

ただ、あなたを遠くに感じる

この世界の中、あなたは彼方へ……。

地球が此処に在る事

奇跡としか言えないだろ？

その中で生きる事

もう奇跡がくれた生命だろ

ただ、あなたを殺してしまう
ただ、あなたが殺してしまう
生活という戦争、そこに奇跡は起こるの……？

ただ、あなたが出逢いたい人
ただ、あなたを待っている人
この世界の中、想像なんて意味を無くす

奇跡的な生命の誕生

奇跡的なあなたとの出逢いと別れ

恋愛小説家

ねえ、貴方はいつだってそう。澄ました顔してデタラメ言っただけか
たまには素直になりなつて、私が何度言つても「素直だよ」って言
つて

私を安心させる為の嘘について

いつも不安にさせてる事に気付かないで

貴方はなんてドジなの。

少しは私の気持ちの裏を見てよ

甘い恋が欲しいの。そんなの夢の様な話なんだけど……。

貴方という存在がいるのだから、少しは期待していいでしょ？

そんな憧れを持って、私は恋愛小説を読む

なあ、お前はいつだって素直過ぎ。涙も笑顔も少しは隠せよ

だから小さな声を使い「可愛い顔するな」って澄ました顔で言う

冷たいわけじゃないさ。クールにいないと

微笑んでしまいそんな胸の高鳴り

お前は可愛い過ぎなんだよ。

俺を悩ませるような裏の顔を見せてみる

淡い恋を演じる。それが俺に出来る小さな努力だよ

馬鹿みたいに触れ合うのは柄でもないから

そんな憧れを隠し、俺は恋愛小説を書く

貴方が私を情熱的に愛してくれないから

私は『彼氏彼女の物語』という小説を読む

恥ずかしくてお前を素直に愛せないから
俺は『彼氏彼女の物語』という小説を書く

甘い恋がしたいんだ。でもそれは恥ずかしい程の想いで
どうしても素直になれないから

いつの日かの決意の為、恋愛小説は存在する

私は貴方にこうして欲しいの

この恋愛小説の様に

俺はお前にこうしたいんだよ

この恋愛小説の様に

ラストラブソング

『ねえ、世界中の人々、どうしてあなた達は分かってくれないんだ？
僕がこうやって叫んでるのに、届く想いは一つも無いのか？』

『なあ、世界中の人々、生命を食べてまで生きる必要が何処にあるんだ？

僕がこうやって苦しむのに、聞こえる悲鳴は一つも無いのか？』

『もう疲れてしまったよ。

僕はあなた達を支えきれないんだ。

どうしたらいいのだろう……。

途方にくれて、21世紀』

世界中に響き渡れ、これは地球からのラブソングだ

世界中に響き渡れ、愛しい生命へのレクイエムだ

『ねえ、世界中の人々、血を流してまで奪い合うプライドが本当にあるのか？

僕は雨が綺麗にしなければ、血まみれの姿と化するのだろう』

『もう狂ってしまったよ。

安定を保つ柱など此処には無いんだ。

どうしたらいいのだろう……。

時代に流され、21世紀』

それでも汚れは増えてくばかりだ

もはや時間の問題だろ？ 僕の寿命は後半世紀？

誰かが優しくして解決はしない

今更治す薬は無いだろ？ 時はいつだ、世界の終わり

世界中に響き渡れ、血を流し競うランキングの国よ

世界中に響き渡れ、鳥の悲鳴、それは生命への警告だ

世界中に響き渡れ、これは地球からのラブソングだ

世界中に響き渡れ、愛しい生命へのレクイエムだ

地球からのラストラブソングだ

生命へ射るラストラブソングだ

愛の輪

『貴方が私を想ってくれる世界がとても好き』

目の前で無差別殺人が起こっても 大地震で何万人も死んじゃっても
私は泣きはしないでしよう

全て他人事になって過ぎていく

この世界は誰の世界なの？

『貴方が私を見てくれる世界がとても好き』

盲目の少女が笑うのを見ても 眼鏡の度が合わない少年でも
私は貴方に見てほしいのです

全て嘘の様に消え去っていく

この世界は誰の世界なの？

僕がイマ生きている世界は間違いなく僕の世界だ
なのに何で、世界は僕を見てくれない

彼女が生きる世界だって間違いなく彼女の世界だ
なのに僕は、世界を共有したがっている

繋がりが欲しいんだ

僕と君が手を繋ぐ様な温かい絆が

繋がりが欲しいんだ

世界中が繋がる様な温かい愛の輪が

僕の世界に彼女が生きていて欲しい
彼女の世界に僕が生きていて欲しい

そんな繋がりが欲しいんだ
世界が少しでも繋がる
そんな繋がりが欲しいんだ

スローダウン

急いで生きてきたのだと、今更気付いた
もう、遅いよ。後戻り出来ないよ
競って嫉み合ったのだと、君を見て知った
もう、痛いよ。心の傷治らないよ

天国への階段を静かに上がっていく
地獄への階段を静かに下っていく

貢いで得た愛情なんか、何の価値もない
でも、捨てない。それに縋る事
稼いで見た自由なんか、何の意味もない
ただ、無くなる。日々、生命力消費

天国への階段を静かに上がっていく
地獄への階段を静かに下っていく

此処は本当に安全なのだろうか
天国と地獄の間、僕等の居場所
此処は本当に安全なのだろうか
天国と地獄の間、僕等の墓場

戻れる魔法なんて習ってないから、僕等は明日にしか行けない
それでも過去を見る魔法は見出だしたから、明日を嫌い過去に縋る

急ぎ過ぎた人生
スローダウン、スローダウン
今更、階段は前しかない

急ぎ過ぎた人生
スローダウン、スローダウン
尚更、階段は前しかない

世界平和

夢が僕達を騙さないなら、何処に魅力があるのだろう
花が蝶々を避けるのなら、何処に行けばいいのだろう

喜びも苦しみもある

なんて平和なんだ。僕達の生活

空が僕達を受け入れるなら、何処に憧れを持てばいい？
虫が虐めを嫌がるのなら、何処に嫌味をぶつけばいい？

好みも苦手もある

なんて平和なんだ。僕達の感性

『この世界にある全ての存在は当たり前そこに在る』
それが事実なら、屋上の少女、君は勘違いをしてるよ

平和という魔法の言葉に魅せられた世界だ

僕が何度も問いただした『平和の意味』

それって当たり前に在る世界なんじゃないのか？

喜びも苦しみもある

なんて平和なんだ。僕達の生活

『世界平和とは、それぞれの存在の事をいう。
生活という戦争を生きている存在の事をいう』

世界が理解すればいいのに……。
世界が理解すればいいのに……。

Orchestra

心臓が響かすメロデー 生命の音楽隊 世界への存在証明
足音が響かすメロデー 生命の音楽隊 世界への存在証明

彼女が飛び降りてしまった今日 それでも空は綺麗に見えた
少女が首吊ってしまった一昨日 それでも空は綺麗に見えた

戦争で死んでしまった少年は国の為に役に立ったのだから？
殺された可愛い女の子もテレビに出る夢を叶えたのだから？

なんて優しい世の中なんだ……。
生活とは、気持ち良く流れる日々だ……。

数十年前に僕が生まれていたのだとしたら、やっぱり死んだだろうが
他国からの贈り物、空からの贈り物、やっぱり僕は死んだのだろうか
数十年前の少女がこの時代に生まれたなら、やっぱり死んだのだろうか
危機感の無い日々、親からの贈り物、それでもいつか死ぬのだろうか

なんて優しい世の中なんだ……。
生命とは、誰に対しても平等だ……。

この世界が抱える不安の種は、何処の誰から渡されるのか
僕等はわかって暮らしている みんな演技派だ

この世界が戦う戦争の相手は、何処の誰だかわからないか？
僕等は騙して生きている もう、そんな世界なんだ

We pray for peace.
Life is "the war of the illusi

on”
we break the beautiful world a
nd live.
For Peace…….

World Peace Orchestra

（私達は、平和を願います。生活とは、『幻の戦争』です。
私達は素晴らしい世界を壊して生きています。平和の為に……。）

（世界平和オーケストラ）

世界平和とオーケストラ

それは世界の夢と僕等の存在

世界平和とオーケストラ

それは世界の愛と僕等の戦争

祝福されない日曜日

花はなんで綺麗なのだろう？ 比例してみる僕等人類と
本当は違いなんて殆ど無いんだ それでも花はとても綺麗だ
くだらない世界を見ないように伸ばした前髪、醜い姿
それが僕なんだ……。偉そうに言葉を記す僕なんだ……。

今日疲れたから寝よう 明日ダルいから僕は寝るよ
本当にやる気なんて無いんだ 天国の皆様は懺悔
人と触れ合うのが怖くって習得した潔癖症、汚い癖
それが僕なんだ……。偉そうに平和を語る僕なんだ……。

全てが嫌になったから、どんな日だって同じだ
平日は疲れたんだ……。それでも暇が出来てしまい
自分を見つめる休日 僕は日曜日を祝福しない

「ねえ、死にたいなら共に逝こう？」 そんな魔法の言葉を僕は待
ってる

「くだらない」って口癖 僕は何に向けて言い続けているのだろう
前髪を伸ばしてしまっ癖 僕は何を嫌って世界を見ないのだろう
そんな人なんだ……。世界を嫌っているのは……。

一番平和を願っているのは……。他でもない、僕なんだ……。

生命に向けたメッセージ、心から受け止めたのは僕自身だ
世界からの警告、身震いするほど受け止めたのは僕自身だ

全てが嫌になったのは、死にたいって意味じゃない
本当に疲れたんだ……。そう言っ手抜きが癖
自分が嫌ったくせに、僕は世界から祝福されない

本当は素晴らしい日々を、僕は心から受け止めたい
本当に疲れる平日を抜け、僕は日曜日を祝福したい

「貴方の言葉は綺麗だね」 そんな魔法の言葉が聞けなくても
「世界に立つ醜い決意」 そんな唄を届けていたんだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1699k/>

world peace orchestra

2010年10月11日19時49分発行